

平成 21 年 5 月 21 日  
株式会社エム・データ

## エム・データ、ワールドベースボールクラシック出場

### 日本代表主力選手のテレビ露出量を発表

関東キー局での露出時間

1 位は「イチロー」(米・シアトル・マリナーズ)

国内テレビの放送内容を記述したメタデータを提供する株式会社エム・データ(所在地:東京都港区虎ノ門1-16-16虎ノ門1丁目MGビル9F、代表取締役社長:森谷文彦、電話:03-3519-7060)が、2009年3月に開催された「ワールドベースボールクラシック(以下:WBC)」に出場した、日本代表主力選手(注1)のテレビ番組露出量を発表しました。これによると、WBC開催前後の期間(2009年2~4月)に関東キー局で放映されテレビ番組で最も露出時間が長かったのは、やはり「イチロー」(米・シアトル・マリナーズ)で108時間31分23秒。以下、2位は「松坂大輔」(米・ボストン・レッドソックス)で65時間36分16秒、3位は「ダルビッシュ有」(北海道日本ハムファイターズ)で46時間51分11秒でした(注2)。また、番外編として監督を務めた「原辰徳」は95時間41分21秒で、選手を含めても全体の2位となる露出がありました。

世界の強豪が集った野球の世界大会 WBC は開催前からメディアで大きく報道されていましたが、大会期間中に日本代表チームが素晴らしい活躍で連覇を成し遂げるなど、チームが勝ち進むにつれテレビでの報道も一気に過熱しました。主力選手についての露出量は WBC 開催前後の期間中に合計 555 時間 2 分 56 秒にのぼり、これは前年同期の 111 時間 54 分 53 秒と比べて約 5 倍の露出量となりました。このことから改めて WBC への注目度が高かったことが伺えます。また WBC 閉幕後、日本プロ野球と米大リーグの開幕となった4月の選手露出量も前年同月と対比して5倍強となっており、WBC 効果が如実に表れた結果となりました。

(注1) 日本代表選手の中からエム・データが任意に選定した 16 名の選手と、監督。

(注2) テレビ露出量調査結果には WBC の試合中継での露出は含まれておりません。

調査結果詳細に関しましては、添付のファイルもしくはエム・データホームページ(<http://mdata.tv/>)をご覧ください。

株式会社エム・データでは、東京・名古屋・大阪地区のテレビ局で放送されたテレビ番組やテレビCMを、テキスト化・データベース化して「TVメタデータ」を構築しています。当社のデータセンターでは、常時40名前後の専属リサーチスタッフが、24時間365日「いつ」「どこで」「何が」「どのように」「何秒間」放送されたかを、当社オリジナルのデータ収集システムを使用しデータの収集を行なっております。本調査には、このTVメタデータを利用しています。

## 調査結果抜粋

2009年2～4月 WBC 出場日本代表主力選手テレビ露出量ランキング(トップ10)

順位	選手名	TV番組露出時間
1位	イチロー (米・シアトル・マリナーズ)	108時間31分23秒
2位	松坂大輔 (米・ボストン・レッドソックス)	65時間36分18秒
3位	ダルビッシュ有 (北海道日本ハムファイターズ)	46時間51分11秒
4位	岩隈久志 (東北楽天イーグルス)	44時間21分29秒
5位	青木宣親 (東京ヤクルトスワローズ)	31時間19分22秒
6位	村田修一 (横浜ベイスターズ)	29時間03分56秒
7位	田中将大 (東北楽天イーグルス)	25時間32分12秒
8位	内川聖一 (横浜ベイスターズ)	20時間12分01秒
9位	城島健司 (米・シアトル・マリナーズ)	17時間56分21秒
10位	岩村明憲 (米・タンパベイ・レイズ)	14時間43分04秒
番外	原辰徳 (読売ジャイアンツ)	95時間41分21秒

本件に関するお問い合わせ

株式会社エム・データ メディア調査部

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-16-16 虎ノ門1丁目 MGビル9F

TEL:03-3519-7060(代表) / FAX:03-3519-6684 / E-mail:info@mdata.tv

本調査結果は、テレビ放送を365日、24時間体制で独自にモニタリングした結果から、該当データのみを抽出してまとめたものです。本調査およびモニタリング・データについてのお問い合わせは上記宛てにお願いいたします。